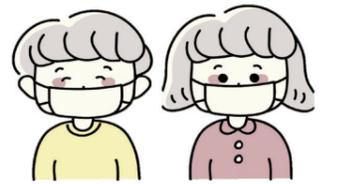




佐々木 僚平 議員

一問一答方式



新型コロナウイルスから市民の命と暮らしを守るために

市長 感染に不安を覚える人も無料でPCR検査を受けられる

問.....

第7波急拡大により多くの感染者が確認されたが、ワクチンの早期接種、検査体制の強化は。

答 (保健医療担当部長).....

高齢者施設、医療従事者等への4回目接種の実施、また遅れている10代、30代の接種促進のため、土曜日の接種会場設置に努めている。

問.....

予防対策のためのPCR検査、抗原検査キットの無料配布などは。

答 (健康福祉部長).....

特養老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム等で順次検査を実施している。また、市内小中学校・保育園・児童館等に対し、必要に応じて抗原検査キットの配布、マスクや消毒液等の感染対策

物品の配布、購入補助事業を実施している。発熱などの症状や接触歴のある人が受診・検査できる医療機関は市内に6カ所あり、感染に不安を覚える人が無料でPCR検査を受診できる会場は4カ所ある。なお、検査場所は広報とおの、ホームページ、SNSで発信している。

後期基本計画のあり方

市長 陸上競技場に約5億円、野球場に約5千万円、施設の充実に必要

問.....

計画に載っていない政策は、途中で採択することはできないのか。

答 (市長).....

市が計画に載せていることは全部やらなければならぬ。そのうえで私が望むやりたい政策や事業は途中からでもしっかりと計画を練り、予算を確保し実行する。例えば、運動公園の整備、

特に陸上競技場のトラックの全天候化や野球場の電光掲示板の子どもたちの夢や可能性を叶えるためにも取り組む。

この様に、後期基本計画を尊重しつつも、組織替えや、様々な方法で考えた施策を実現できるという事があるので、ご理解をいただきたい。



整備が望まれる運動公園



荒川 栄悦 議員

一問一答方式

その他の質問

- 農業振興・循環型農業・有機農業・堆肥センターについて

自然エネルギーによる発電について

市長 ※カーボンニュートラルと産業振興バランスよく計画的に取り組むことが大事

問.....

市内事業者によって木質バイオマス発電事業が始まろうとしている。これは原木や林地

残材を利用して発電する仕組みである。

森林整備計画等による森林保護と林業振興との整合性について確認したい。

答 (市長).....

バランスよく計画的に行っていく。伐期を過ぎた山林もあることから、森林組合や山主、林業者等の関係者で密に話し合いながら計画的に進めることが必要。

問.....

森林資源の持続性を確保するためにも、日本版フォレスト制度を遠野市でも導入してはどうか。

答 (市長).....

※フォレストの有資格者が少ないので、これを育成するための支援を考えている。その後、当市の森林整備計画の中で積極的にフォレスト制度を活用したいと考えている。

水田活用交付金の見直しについて

市長 政府や岩手県知事、東北農政局長などに要望をしている

問.....

米価下落時期の「水田活用直接交付金」の見直しについて市長の見解は。

答 (市長).....

政府や岩手県知事、東北農政局長などに対し削減見直しについての要望をしている。農業離れへの懸念もしており、どのように進んでいくべきか考えていかなければならない。



基幹産業である農業食料自給率の向上が必要

問.....

遠野市では農業を基幹産業と位置付けているが、日本の食料自給率は37%と先進国で最も低い。食料自給率向上させるには何が出来るのか。

答 (市長).....

市では現在、低農薬自然農法とそれにおける助成金を用意している。集团的・企業的農業も進めていかなければならないと考えている。また、畜産についても力を入れたいと思う。

問.....

※小水力発電について市長の考えは。

答 (市長).....

当市は小水力発電に適していると思う。事業は、起業も含めて、市内の民間事業者の積極的な参入を望む。そのことにより、市内経済の好循環が生まれる。行政はそのサポートに回る。民間の経済が活性化すれば、市にとっても税収の増加になり財政も良くなる。

※カーボンニュートラル

一酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理による「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする

※フォレスト

スイスやドイツの「森林管理官」のことで、森林環境の維持向上に関わる専門職。

※小水力発電

一般河川、農業用水などを有効利用した1,000kW以下の環境配慮型発電